



12月園だより

令和7年12月1日

第三ひもんや保育園 園長

0歳児が、園庭から戻ってきた時のことです。玄関を入ると靴下と靴を自分で脱ごうと頑張っています。そのあと靴箱に靴を置き手や足をタオルで拭いていました。そして部屋に戻るために階段に向かっています。保育士が声をかけなくても自ら動いている子どもたちの姿に成長を感じました。保育士も子どもたちの姿を見守りながら必要な時には、手助けをしていました。階段を登っている途中に一人の子どもが「あっあっ」と声を上げ何か伝えようと立ち止まっていました。保育士はすぐに気づき「絵がかいてあるね」と階段に貼られている絵を見ると子どもも納得した様子ですぐに皆の後を追って登っていきました。子どもの仕草や言葉を見逃さず気持ちに伝えていくことで“伝えたい”思いが膨らんでいくと思っています。これからも、子どものつづきやき・視線・仕草をしっかりキャッチできる保育を心掛けていきます。

3・4・5歳児は「大きくなったね会」で表現をして成長している様子をお伝えしたいと思っています。0・1・2歳児クラスの成長した姿や様子もコドモンの配信を通して保護者の方と一緒に喜び合っていきたいと思います。

<12月の行事予定>



大きくなったね会

しめ縄

中 旬 身体測定・避難訓練

<お知らせ>

年末年始のお休みは12月29日(月)から
1月3日(土)までとなります。

散歩 ～乳児クラス編～



ちょうちょ組

どんぐり拾いに出発。どんぐりだけでなく、きれいな色の葉っぱや松ぼっくりも見つけました。



ありんこ組

保育士と一緒に探索をしながら、見つけた大きな落ち葉やねこじゃらしなどの自然物に触れるのを楽しんでいます。



てんとうむし組

散歩先では友達と一緒に「ここ入ってみよう」と誘って草むらに入っていく、探索を楽しんでいます。

～ 幼児クラス おおきくなったね会のみどころの紹介をします～

みつばち組（3歳児クラス）

子どもたちはお医者さんごっこが大好きで、日頃から身近な体験を再現して遊んでいます。「ねこのおいしゃさん」を読み聞かせてもらう中で、お医者さんと患者さんのやり取りが面白く「もういっぱい読んで」と繰り返し楽しんでできました。好きな動物のセリフを覚えると、一人一人やってみたい役が出てきました。保育士と一緒にお面を作り、配役も決まり絵本を見ながら「これがあったらいいね」「これつかいたい」と小道具を少しずつ準備していくと、自分の役に親しみがわいていきました。病気やけがを「にゃ～」と気合を入れて直してしまう「ねこのおいしゃさん」とのテンポのあるやりとりや、元気になって帰っていく明るいストーリーです。子どもたちのイメージから生まれるかわいらしい表現の一つ一つを一緒に楽しみながら見ていただきたいと思います。



とんぼ組（4歳児クラス）

とんぼ組はさるかにがっせんを演じます。子どもたちの大好きなお話で、お話にあるやりとりや掛け合いを楽しんだり、それぞれの役の特徴をつかみ、細かな動きや表情を工夫しながらなりきって表現しています。また、自分の役に思い入れがあり、帽子や服装などこんなふうにしたいとデザインしたり、装飾したりとこだわりを持って懸命に制作しました。さるかにごっこをした後はいつもおもしろかったという声が聞こえてきます。当日も子どもたちが役になりきり楽しんでいる姿をご覧ください。



かぶとむし組（5歳児クラス）

「だいすきがいっぱい」を演奏します。みんなの大好きな歌なので歌っているときの表情がとても素敵です。いろいろな楽器を体験し好きなものを選びました。リズムに合わせて演奏する姿をどうぞご覧ください。

劇は「ピーターパン」です。剣を使ったごっこ遊びが大好きなので、闘いのシーンには自然と力が入ります。それぞれが自分で作った短刀を手に、いかにかっこよく動かすかを意識しています。また、登場人物の動きやセリフも自分たちで考えました。空を飛んでいるようにみせるにはどうしたらいいか、船で帰るシーンはどうすればいいかなど細かい演出もアイディアを出し合って決めました。かぶとむしぐみのみんなの思いがたくさんつまった冒険劇です。どうぞお楽しみください。

